

わたしは、はるばるとうみをこえて、どいつへわたった。そこには、にほんとはちがうせかいがひろがっていた。いこくのまちは、うつくしく、ひとびとはじゆうにくらしていた。わたしは、そのなかであたらしいじぶんをみつけようとしていた。

もりおうがい「まいひめ」より